

## 有害物質が埋まる万博へ子どもたちを招待しないでください！

署名開始日:2023年12月19日 大阪府以外の方も署名できます。

吉村大阪府知事は2023年8月30日、府内在住の4~18歳を無料で万博に招待すると発表しました。2回目以降は市町村で検討してほしいと述べました。



しかし、2024年1月1日に能登半島地震が起こり、資材や労働力不足のなか、「万博を中止し災害復興に注力すべき」との声が高まっています。また、液状化などの被害状況が明らかになるにつれ、万博開催地の夢洲は災害が起きやすい場所であり、災害対策が不十分なことが、よりはっきりしてきました。

以下に述べるように、万博開催地の夢洲は集客施設をつくってはいけない場所であり、子どもたちを行かせることに強く反対します。

### <有害物質が埋まる夢洲>

夢洲はごみの最終処分場として作られた人工島です。有害物質を含む川底の泥や建設残土、産業廃棄物などが埋まっています。

子どもたちがバスで来場する駐車場は、有害物質 PCB の袋 1万袋の上を土で覆い、コンクリートで固めてつくる計画です。そこに子どもたちは降り立つこととなります。子どもたちの健康被害が心配です。駐車場以外にも土壌調査がされていないので、どこにどんな有害物質が埋まっているのかもわかりません。そんな場所で子どもたちは行動することになるのです。

### <災害対策が不十分>

万博の開催期間は、梅雨や台風による自然災害の多い時期です。夢洲は大阪湾上に位置し、災害を受けやすい地理的条件です。南海トラフ地震の発生予測は10年以内30%、30年以内70~80%とされています。大きな地震が来れば、津波や液状化などによる甚大な被害が予想されます。

自然災害が起きたときの避難はうまくいくのでしょうか。夢洲には避難路が2ルート（橋とトンネル）しかありません。一日あたり約15万人の入場者予測ですが、とても2ルートだけでの避難は不可能ですし、今まで橋は強風で、トンネルは冠水で通行不能になっています。橋やトンネルが使えないと生活物資が途絶える文字通りの孤島になってしまいます。

### ◆子どもたちの命と健康を守るために以下を要請します。

1. 有害物質による健康被害の危険性がある夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。
2. 自然災害の危険性が高い夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。
3. 自然災害が起きたときに避難が不可能な夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。

名前	住所

<署名の送り先>

〒536-0016 大阪市城東区関目 6-4-2-103

夢洲カジノを止める大阪府民の会 (メール stop-casino@vosakaf.net)

090-8536-3170

ホームページ <https://vosakaf.net>



取り扱い団体【

◆WEB 署名はこちらから <https://chnng.it/ypB7qwgKhy>



】